

# 北海道浮魚ニュース

平成13(2001)年度 26号 (通巻 No.119)

2001年10月29日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-32-7177	Fax : 0162-32-7171
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

## 道東太平洋サンマ・マサバ漁期後調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)によって行われたサンマ・マサバ漁期後調査の結果をお知らせします。

調査期間: 2001年10月22日~26日

調査海域と調査点(図1): 道東太平洋の5調査点(漁獲調査は2点)

調査方法: 9種類の目合(22,25,29,37,48,55,63,72,82mm)の流し網を用いた漁獲試験

### 表面水温(表1)

調査海域の表面水温は10.4~12.3で、昨年とほぼ同じでした。

### 漁獲尾数(表1)

流し網調査によるサンマの総漁獲尾数は488尾で、昨年(404尾)をやや上回りました。調査1回流し網1反あたりの漁獲尾数\*も17.4尾と前年(14.4尾)をやや上回りました。

今回の調査では、サバやマイワシは漁獲されず、カタクチイワシも158尾と昨年(3,227尾)を大幅に下回りました。

\*流し網目合22~48mmの漁獲尾数から算出

### 体長組成(図2)

流し網で漁獲されたサンマの体長範囲は、20~33cmでした。

漁獲調査を行ったST.A,Dとも昨年同

様中型魚が主体に漁獲されました。また、調査全体では、中型魚が全漁獲尾数の72%と最も多く、小型魚・ジャミは22.4%、特大・大型魚は5.6%でした。

今回の調査は、主漁場が三陸以南に移った後、道東沖にはどの位サンマやサバが分布しているか、その組成(大きさ)はどうなっているかを明らかにするために行いました。

調査の結果、残念ながらマサバは漁獲されませんでした。サンマは今年の好漁を反映し、昨年を上回る漁獲がありました。

例年、サンマは大型のものから先に南下し、その後に中型魚、小型魚が続きます。今回の調査では中型魚が主体に漁獲されましたが、調査時には大型魚は三陸以南に南下してしまい、道東沖には中型魚や小型魚しか分布していなかったためと思います。

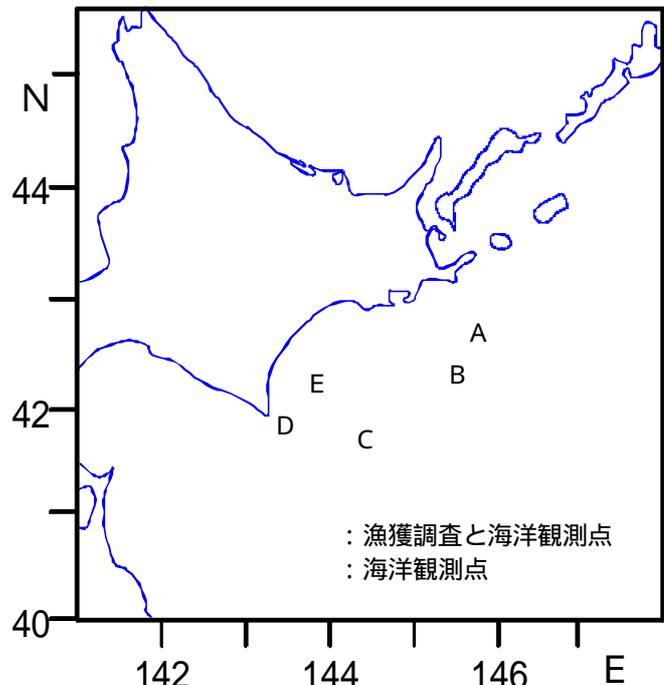


図1 サンマ・マサバ漁期後調査点図

表1 サンマ・マサバ漁期後調査結果

		ST	A	B	C	D	E		
		調査日	10.23	10.23	10.25	10.25	10.25		
位置	北緯	42-40	42-20	41-55	41-50	42-10			
	東経	145-30	145-15	144-25	143-50	144-10			
水温 ( )	0m	12.3	12.2	10.4	11.6	10.8			
	50m	5.0	2.6	3.0	6.6	6.2			
	100m	2.5	0.9	2.0	2.9	4.0	合計		
サンマ 漁獲尾数	22mm	0			0		0		
	25mm	0			4		4		
	29mm	89			138		227		
	37mm	75			167		242		
	48mm	11			3		14		
	55mm	1			0		1		
	合計	176			312		488		
混獲尾数	ガハ類	0			0		0		
	マイシ	0			0		0		
	カクチイシ	14			144		158		
	スルメイカ	11			96		107		
	アカカ	0			0		0		

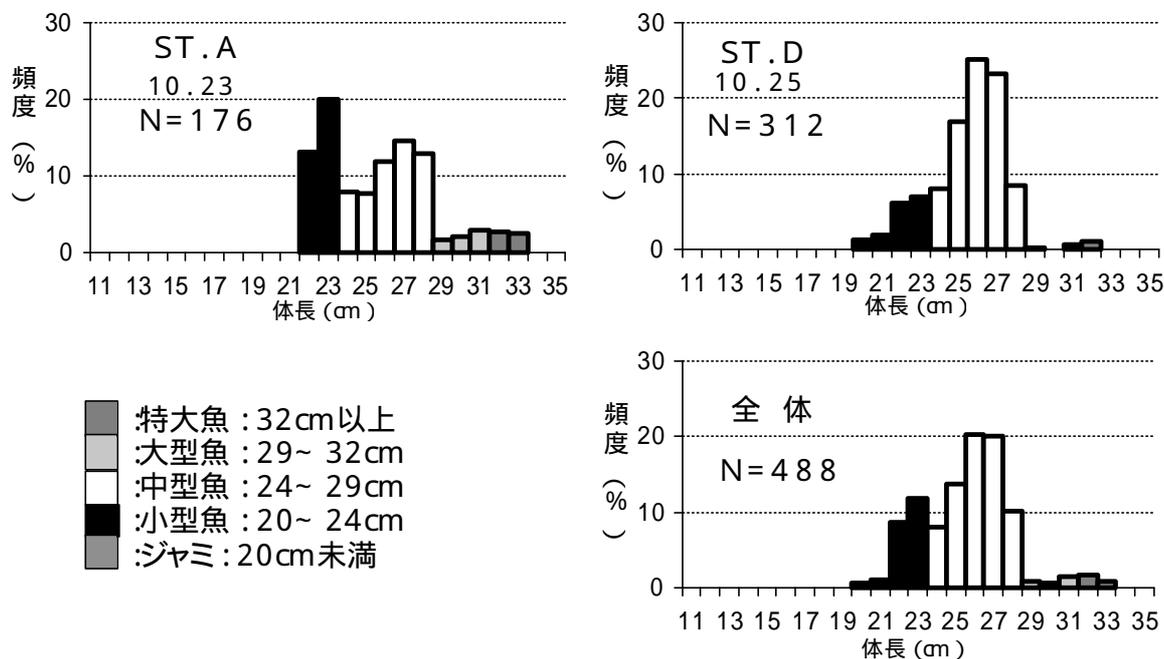


図2 調査点別体長組成 (Nは漁獲尾数)

( 文責 : 釧路水試 資源管理部 直通電話 : 0154-23-6222 )